

東海だより

第10号

東海防衛支局発行

〒460-0001

名古屋市中区三の丸二丁目2番1号

電話：052-952-8212

<http://www.mod.go.jp/rdb/tokai/>



7月23日（土） 名古屋港での護衛艦「くらま」の一般公開の様様



後部甲板に搭載しているSH60K哨戒ヘリコプター



アスロック8連装発射機（対潜ミサイル）

国際平和協力活動

ゴラン高原派遣輸送隊第32次要員の出国

国際平和協力法に基づき、平成8年2月から中東のゴラン高原兵力引き離し監視隊（UNDOF）に派遣されている自衛隊のゴラン高原派遣輸送隊の第32次要員が8月20日（土）と9月3日（土）に分かれて、成田空港から出国しました。

第32次派遣隊員は、東海北陸6県を管轄する陸上自衛隊第10師団の隊員を主力とする43名（海上自衛官・航空自衛官を含む。）で編成され、来年3月頃までの約半年間、中東のゴラン高原においてUNDOFの活動に必要な物資の輸送、道路の補修及び器材の整備などに携わり、UNDOFの活動全体の基盤を支えます。

派遣隊は、昨年8月から事前教育及び準備訓練を積み重ね、7月12日（火）から14日（木）の3日間、航空自衛隊岐阜基地で総合訓練を実施しました。

また、7月23日（土）には、師団司令部のある陸上自衛隊守山駐屯地において、ゴラン高原派遣輸送隊第32次要員候補者の壮行行事が実施され、国会議員、愛知県知事をはじめとする多数の来賓及び隊員家族等約260名が参列しました。



出国の様様（8月20日）



壮行会で整列する派遣隊

航空自衛隊岐阜基地での総合訓練



現地を想定した調整場面



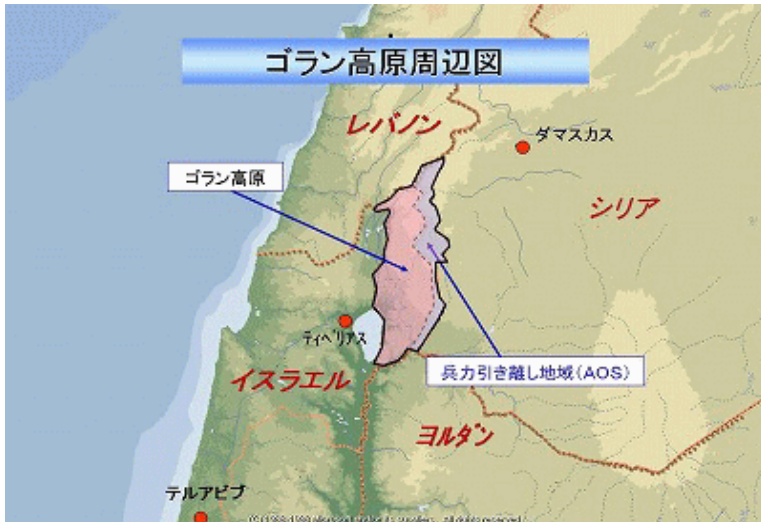
車列を組んでの操縦訓練

国連兵力引き離し監視隊：UNDOF

(United Nations Disengagement Observer Force)

UNDOFは停戦に合意したシリアとイスラエルの間に設定された兵力引き離し地域（AOS：Area of Separation）に展開し、両国間の停戦監視及び兵力引き離しなどに関する合意の履行状況の監視を任務とする国連平和維持活動の一つであり、自衛隊はこの活動の中で輸送隊43名、UNDOF司令部要員3名を派遣し、輸送業務を中心とする後方支援活動を実施しています。

UNDOFは1974年の設立から約37年が経過する現在活動中の国連PKOの中で最も古い歴史を持つPKOの一つです。



「国際平和維持活動（PKO）」 《参加5原則》

- 1 停戦の合意が存在している
- 2 受入国などの同意が存在している
- 3 中立性を保って活動する
- 4 上記1～3の原則のいずれかが満たされなくなった場合には一時業務を中断し、さらには短期間のうちにその原則が回復しない場合には派遣を終了させる
- 5 武器の使用は要員等の生命又は身体の防衛のために必要な最小限度に限る

不発弾処理（自衛隊の民生支援活動）

7月17日（日）、陸上自衛隊中部方面後方支援隊第103不発弾処理隊（京都市）は、名古屋市千種区にある浄水場施設内の濾過池の耐震化工事現場で発見された不発弾、長さ1.2メートル、直径36センチメートルの米国製250キログラム爆弾の信管除去等の安全処置を行い、現場から搬出しました。

当日は、千種区長を本部長とする関係機関による現地対策本部が設置され、現場から半径300メートルの範囲の1,165世帯、約2,500人の住民に一時避難を呼びかけ、交通規制で市バス等も迂回運転しました。

処理作業は、高さ約4メートルまで積まれた土手の内側に入り、午前10時から開始し、約1時間半で2本の信管が取り外されました。



東日本大震災における自衛隊の活動状況写真展

県内大手スーパー3店舗での展示



護衛艦「ゆうきり」
一般公開での展示

名古屋港ガーデン埠頭

護衛艦「くらま」
一般公開での展示



平成23年版防衛白書

23年版防衛白書は、東日本大震災への対応、新たな防衛計画の大綱・中期防衛力整備計画の策定、日米外務・防衛当局間による「2+2」会合など、国内外で大きな節目となる事象が多く見られたことから、国民の皆様が我が国の防衛を考える際の資料となるよう、多くの図表・写真・コラムを活用するなどして、防衛省・自衛隊の「ありのままの姿」をお伝えできるよう作成されています。

なお、23年版防衛白書の内容などについては、防衛省のホームページに詳しく掲載されています。(http://www.mod.go.jp/)



空自小牧基地 新管制塔竣工記念行事



管制塔全景



管制室からの滑走路等



村上支局長（中央右）、谷井基地司令（中央左）等によるテープカットの様相

航空自衛隊小牧基地（県営名古屋空港）において新管制塔が完成し、9月から運用を開始する運びとなったことに伴い、6月13日（月）、竣工記念行事が執り行われ、東海防衛支局からは村上支局長が出席しました。

県営名古屋空港における管制業務は、平成17年2月17日の中部国際空港の開港に伴い、国土交通省から委託を受け、旧来の管制塔を有償で使用し、防衛省（空自小牧基地）が実施しています。

今般、県営名古屋空港側から基地側に移動することにより、管制業務の効率化と一層の航空安全を図るものです。

優秀工事等顕彰の授与

優秀工事等顕彰制度とは、各防衛局等が発注する建設工事等において、工事成績が優秀であった完成工事等のうち、特に目的物の出来形又は品質の優れているものであって、他の模範とするにふさわしいものを選定し顕彰することにより、入札参加者の受注意欲を高め、工事目的物の品質確保を図る等、施設取得の円滑な推進に資することを目的として実施している制度です。

東海防衛支局においても、2件の工事が優秀工事として選定され、7月1日（金）に東海防衛支局長より顕彰授与が行われました。

なお、顕彰された実績は、今後の入札時の総合評価方式等において適正に評価されることとなります。請負業者の皆様におかれましては、引き続き他の模範となるよう努力されていくことを期待しております。

東海防衛支局優秀工事【優秀工事及び受賞者】

- ・小牧(20)管制塔新設建築その他工事
(株式会社新東建設)
- ・明野外(21)管制塔新設電気その他工事
(小野電産業株式会社)

7月1日(金) 支局長と受賞者及び関係者



東海防衛支局のシンボลมスコットがデビューします！

ボクは東海防衛支局
シンボลมスコット
東海エビ丸です！！
よろしく！

東海エビ丸



趣味
食べること
特技
東海防衛支局を盛り上げること

- 詳細**
- ・刀は好物の名古屋メシ「エビフライ」
 - ・鎧は岐阜の象徴「岐阜城」
 - ・兜は三重県の象徴「伊勢神宮の鳥居」をそれぞれモチーフにし、東海三県の要素を取り入れました。

コスモス園で描きましょう！
撮りましょう！

各務原市鵜沼朝日町1丁目「生命（いのち）の森」隣接地に、今秋コスモス園が広がります。東海防衛支局では、コスモス園を題材とした絵や写真を募集します。素敵な作品には表彰状に副賞を添えて進呈いたします。また、各務原市の広報誌及び当支局HPでも公開していますので、ふるってご応募ください。

《応募要領》

テーマ：「コスモスのある風景」

【絵画】

対象者：中学生以下のお子様

大きさ：B判八つ切り画用紙
(画材は何でも可)

【写真】

対象者：コスモス園来場者

大きさ：A4以上四つ切りワイド判以下
(光沢紙等)

デジタル画像データ(2MB程度)

※モノクロ・カラーは問いません

募集期間：平成23年10月8日(土)～24日(月)

提出先：各務原市役所総務課

東海防衛支局施設企画課

〒460-0001 名古屋市中区三の丸2-2-1
info-tokai@kinchu.rdb.mod.go.jp

※作品の裏面等に応募用紙を添付の上ご提出ください。

ただし、応募は、各作品一人3点までとさせていただきます。

応募用紙は、東海防衛支局HP、名古屋合同庁舎第1号館ロビー、または各務原市総務課にあります。

問い合わせ：東海防衛支局施設企画課(052-952-8223)